

協賛 一般社団法人国際統合医学会
後援 財団法人日本健康文化振興会

健康と体内環境

第3回日本健康医療学会大会

プログラム・抄録集

大会長 阿部 博幸 医療法人社団博心厚生会
九段クリニック理事長

会 期 2010年10月24日(日)

会 場 全国町村会館

主催 一般社団法人日本健康医療学会

認知症疾患の周辺症状におけるフェルラ酸、 ガーデンアンゼリカ化合物健康食品「フェル ガード」の有用性の検討

○かなや金谷 きよし潔史

東京医科大学八王子医療センター 老年病科

我々は、認知症患者の BPSD に対して「フェルガード」の有用性の検証を前方視的に行ったので報告する。『方法』当科外来通院患者で、DAT、DLB の診断確定している 24 名（DAT 20 名、DLB 4 名、男性 10 名、女性 14 名、平均年齢 78 歳）を対象とした。観察期間は 4 カ月で「フェルガード」1 日 2 包（朝夕 2 回）最初の 2 ヶ月内服する A 群 12 例、後半 2 ヶ月内服する B 群 12 例に分けてクロスオーバー試験を行った。評価方法は、BPSD の評価尺度である Neuropsychiatric Inventory (NPI) に介護者の負担度 (distress) の評価を加えたスコア NPI-D、認知機能検査の MMSE、ADAS、うつスケールである GDS 15 をフェルガード服用前後で測定し、それらの変化を検討した。画像検査として SPECT 検査を行い、投与前後での脳血流の変化を SPM 8 で比較検討した。『結果』検査終了した A 群 12 例で、平均 NPI score は、内服前 18.08 から内服後 10.58 まで有意な低下 ($P=0.003$) を認めた。また、負担度 score も 12.17 から 7.50 まで有意な低下 ($P=0.000$) を示し、「フェルガード」の BPSD に対する改善効果を示した。投与前後における MMSE、ADAS、GDS 15、のスコアに有意差は得られなかった。SPM 8 を用いた脳血流量は、「フェルガード」投与後に右後頭葉、左小脳半球に有意な上昇を認めた。 ($P<0.001$) 『結論』BPSD に対する「フェルガード」の効果の可能性が示唆された。今後とも症例を重ねたい。